

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

□ 全数報告の感染症（7週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 5例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、百日咳 11例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	咳、呼吸困難
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	結核性心膜炎	呼吸困難、心のう液
		高鍋	70歳代	男	肺結核	発熱
		日向	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	80歳代	男	—	肺炎

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群 0~4歳	年齢群 5~9歳	年齢群 10歳代	症状
5類	百日咳	都城	1例			1	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
		高鍋	8例		3	5	
		日向	2例	1	1		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,541人(定点当たり36.6)で、前週比71%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

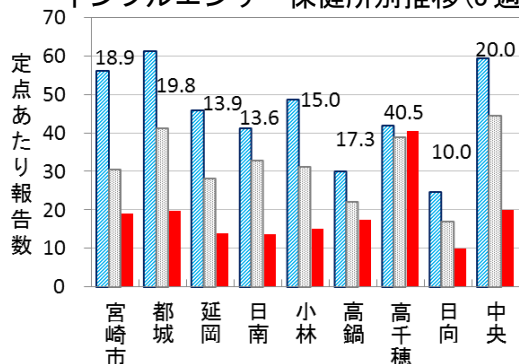
【インフルエンザ】

報告数は1,007人(17.4)で、前週比56%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*(33.5)の約0.5倍である。高千穂(40.5)、中央(20.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約6割を占めている。

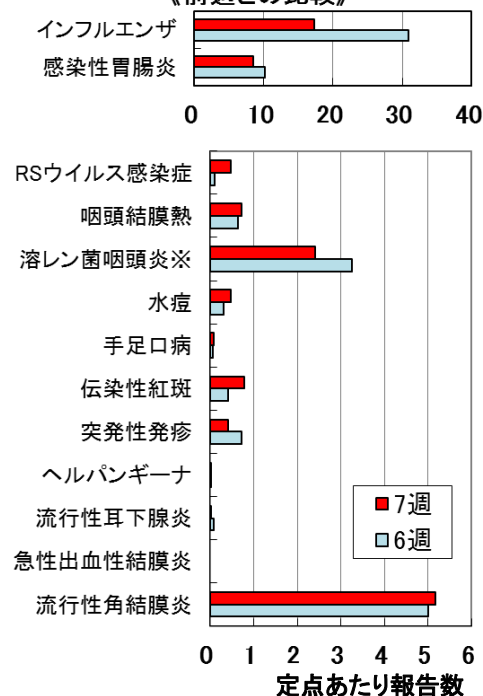
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は87人(2.4)で、前週比74%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約1.2倍である。小林(5.3)、延岡(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では4~6歳が全体の約4割を占めている。 * 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

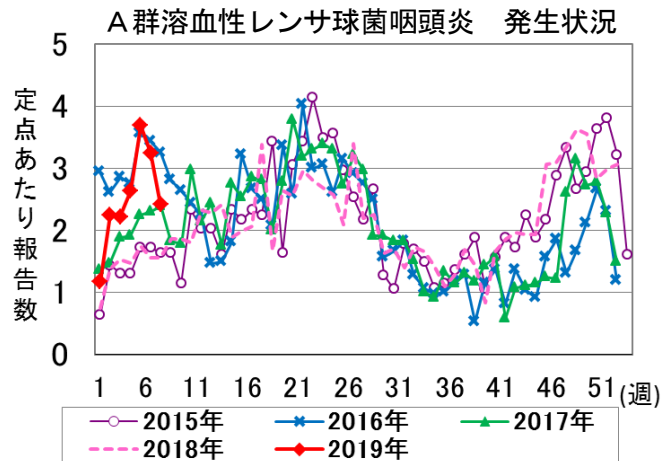
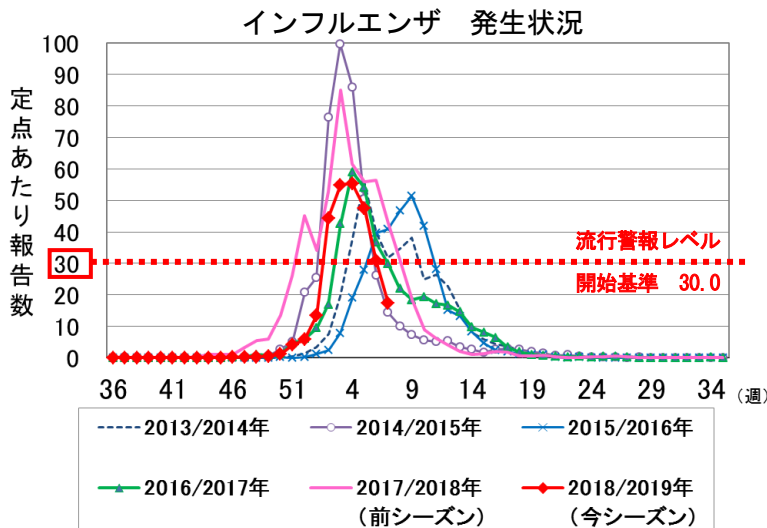
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

宮崎市保健所から1例報告があった。0～4歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(18.9),水痘(1.1),流行性角結膜炎(9.0)
都城	インフルエンザ(19.8)
延岡	インフルエンザ(13.9)
日南	インフルエンザ(13.6),伝染性紅斑(2.7)
小林	インフルエンザ(15.0),感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	インフルエンザ(17.3)
高千穂	インフルエンザ(40.5)
日向	インフルエンザ(10.0)
中央	インフルエンザ(20.0),感染性胃腸炎(20.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 6 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	317 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	27 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	10 例	つつが虫病	1 例
	日本紅斑熱	1 例	レジオネラ症	25 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	16 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	59 例	水痘 (入院例)	4 例	梅毒	66 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	249 例
	風しん	71 例	麻しん	22 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 68 %と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑である。

インフルエンザの報告数は 129,989 人(26.3)で前週比 61%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*(32.4)の約 0.8 倍である。埼玉県(38.6) 沖縄県(35.5)、新潟県(35.4)、大分県(35.1)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 5 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1,813 人(0.57)で前週比 78%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.22)の約 2.6 倍である。宮城県(2.4)、新潟県(2.1)、山形県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第07週(02月11日～02月17日)

疾病名		第06週	第07週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1790	1007	284	198	97	68	75	104	81	60	40
	定点あたり	30.86	17.36	18.93	19.80	13.86	13.60	15.00	17.33	40.50	10.00	20.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	17	10	3	2	1		1			
	定点あたり	0.11	0.47	1.00	0.50	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	26	6	3	2	5	1	1		7	1
	定点あたり	0.64	0.72	0.60	0.50	0.50	1.67	0.33	0.25	0.00	1.75	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	117	87	22	10	18	7	16	10		2	2
	定点あたり	3.25	2.42	2.20	1.67	4.50	2.33	5.33	2.50	0.00	0.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	367	307	58	58	9	39	63	20	1	39	20
	定点あたり	10.19	8.53	5.80	9.67	2.25	13.00	21.00	5.00	1.00	9.75	20.00
水痘	報告数	11	17	11	1	1		2			2	
	定点あたり	0.31	0.47	1.10	0.17	0.25	0.00	0.67	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	2	3	1		2						
	定点あたり	0.06	0.08	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	15	28	13	3	2	8	1	1			
	定点あたり	0.42	0.78	1.30	0.50	0.50	2.67	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	15	4	1	1		1	4		3	1
	定点あたり	0.72	0.42	0.40	0.17	0.25	0.00	0.33	1.00	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1		1							
	定点あたり	0.08	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	30	31	27	2	2						
	定点あたり	5.00	5.17	9.00	1.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～7週)

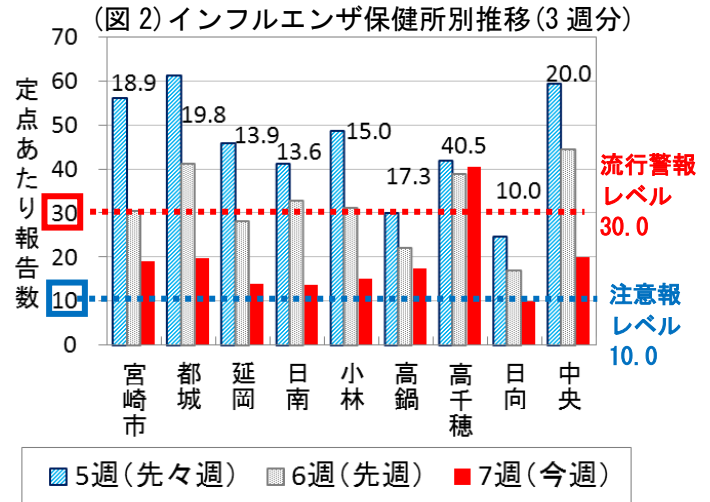
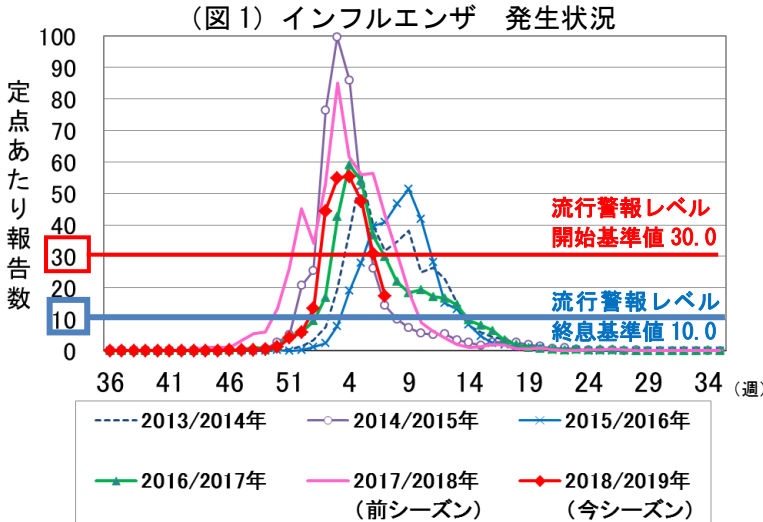
2類感染症	結核	24例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	つつが虫病	3例				
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	1例	百日咳	42例(11)

()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

2019年2月11日～2月17日までの1週間で1,007人（17.4）の報告があった。前週の約0.6倍と減少しており、例年同時期の定点あたり平均値*（33.5）の約0.5倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の26%、5-9歳が29%、10-14歳が13%、15-19歳が5%、20-59歳が19%、60歳以上が8%を占めている（図3）*過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

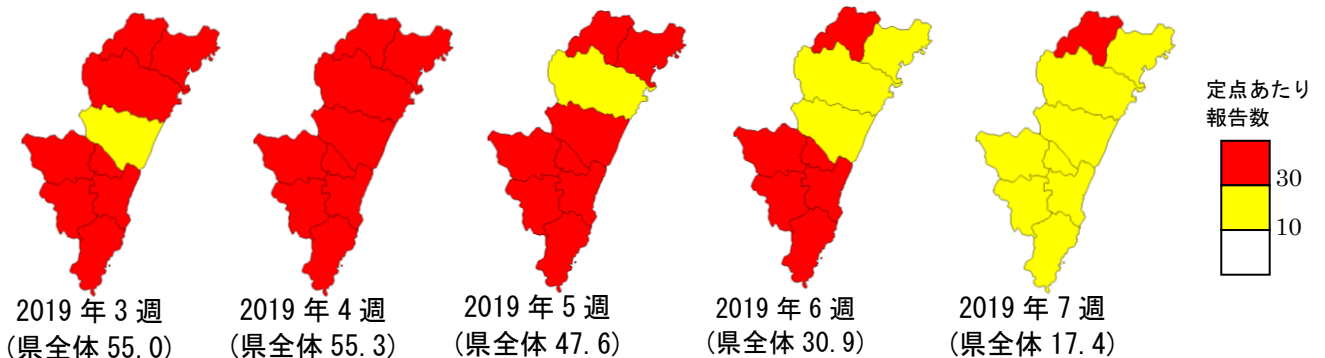


(図3) 年齢群別割合の推移(2019年第3週～第7週)

週	3週	4週	5週	6週	7週	
3,187人	24%	26%	17%	5%	20%	8%
3,210人	23%	30%	17%	5%	18%	7%
2,760人	23%	28%	17%	4%	20%	8%
1,790人	26%	29%	16%	5%	17%	7%
1,007人	26%	29%	13%	5%	19%	8%

5歳未満
 5～9歳
 10～14歳
 15～19歳
 20～59歳
 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2019年第3週～第7週



□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2019年2月4日～2月10日までの1週間で129,989人（26.3）の報告があり、前週の約0.6倍と減少した。埼玉県(38.6)、沖縄県(35.5)、新潟県(35.4)、大分県(35.1)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の22%、5-9歳が28%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が21%、60歳以上が9%である。